

参加者募集!

奥会津版

地域づくりの道しるべ

地域まんだらをつくろう

参加費
無料

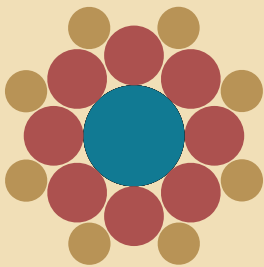
募集定員
30名程度

顕在化する地域の様々な課題、
複雑に変化していく社会の情勢、失われていく豊かな自然資本…。
“これまで通りのやり方”では、舵取りのますます難しくなっていく地域づくり。もはや、
専門家や行政、お金の力だけでは解決が困難です。

「地域まんだら」とは、地域の課題や資源を共有し、多様な関係者がいつでも立ち返ること
のできる共通のビジョンです。大切な地域の営みを守り、育て、次世代へつなげていく道
筋を見出す第一歩として、みなさんの知恵と工夫を持ち寄りませんか。

地域まんだらづくりワークショップへのご参加をお待ちしています。

地域まんだらとは・・・?



「まんだら」とは仏教由来の言葉であり、もともとは、悟りの境地を表す絵図として伝わってきた
ものです。環境省が第五次環境基本計画において打ち出した「地域循環共生圏」という概念を表
したコンセプト図を「まんだら」と呼称したことから「持続可能な地域づくりの道しるべ」の意
味でも用いられるようになりました。「地域まんだら」とは、地域の課題や資源、未来に向けて必
要なアクションを分かりやすくまとめた一枚の絵図です。「地域まんだら」の制作プロセスを通
じて、関係者や地域住民らが立場を超えて、多様な視点から対話・相互理解を深め、地域の状況変
化に応じて更新可能な共有ビジョンを整理していくことができます。

日程

Day 1 : 令和 5 年 12 月 17 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 00
Day 2 : 令和 6 年 1 月 21 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 00
Day 3 : 令和 6 年 2 月 18 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 00

地域まんだら制作のプロセス

地域の現状を捉える (地域課題の掘り下げ) → 地域の資源を洗い出す → 必要なアクション / 目指す方向性を検討する

参加対象

奥会津地域の民間事業者・住民・行政職員
(20 ~ 40 代の地域づくりに興味のある方など)
※ぜひ 3 回のワークショップにご参加ください

こんな方におすすめ

- 地域の課題や可能性について学びたい…
- 仕事や日常の悩みを共有できる仲間が欲しい…
- 地域をよくしたいけど何をすればよいか分からない…
- 奥会津の未来に関わってみたい… など

ゲストスピーカー



Future Research Institute 代表取締役 / 編集家
紫牟田 伸子氏
SHIMUTA NOBUKO



NPO 法人ふるさと回帰支援センター 副事務局長
稲垣 文彦氏
INAGAKI FUMIHIRO

コーディネーター

- 石井重成 青森大学准教授 / 奥会津地域共創フェロー
- 高橋朝美 一般社団法人環境パートナーシップ会議 / 一般社団法人地域・人材共創機構フェロー

Day1

12/17(日) 場所：三島町生活工芸館 〈三島町大字名入字諏訪ノ上395〉

「地域」と「わたし」について考える —地域は、誰のものなのか—

レクチャーテーマ

「地域」と「わたし」のつながりをつかむ

「シビックプライド」の本質を学び、自身にとっての地域とは何か、なぜ地域まんだらを制作するのか、対話を深める

まんだらワークショップ①

地域の課題を洗い出す

「地域」を多角的に捉え、「いま、地域はどういう状況なのか」を洗い出す



【ゲストスピーカー】

紫牟田 伸子氏

・Future Research Institute代表取締役
・編集家

美術出版社、日本デザインセンターを経て、2011年個人事務所、2017年Future Research Institute設立。「ものごとの編集」を軸に企業や社会・地域に適切に作用するデザインを目指し、コミュニケーション戦略などに携わる。主な著書に『シビックプライド：都市のコミュニケーションをデザインする』『シビックプライド2【国内編】：都市と市民のかかわりをデザインする』（監修・共著、宣伝会議）『日本のシビックエコノミー—私たちが小さな経済を生み出す方法』（フィルムアート社）など。

Day2

1/21(日) 場所：シェアベース昭和村 〈昭和村大字野尻字元町4488〉

人と人のつながりの可能性を考える —“地域資源”とは何か—

レクチャーテーマ

「人」と「地域」のつながりの解像度を上げる

「内発的域づくり」の本質を学び、地域内外の「人」の交流がもたらす価値の循環の可能性に触れ、地域資源の捉え方を広げる

まんだらワークショップ②

地域の資源を洗い出す

「地域資源」を多角的に捉え、「いま、地域にどんなポテンシャルが潜んでいるのか」を洗い出す



【ゲストスピーカー】

稲垣 文彦氏

・NPO法人ふるさと回帰支援センター
副事務局長

長岡技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程修了（工学博士）。専門は災害復興、地域づくり、市民協働によるまちづくり。外部人材を活用した新たな内発的発展論を展開し、地域づくりにおける地域住民の主体形成プロセスを研究。国の地域おこし協力隊・集落支援員制度、関係人口の施策等の普及、人材育成等に尽力。総務省地域力創造アドバイザー、地域おこし協力隊サポートデスクスーパーバイザー、福島大学つくしまふくしま未来支援センター客員研究員、日本災害復興学会理事等。主な著書として「震災復興が語る農山村再生地域づくりの本質（2014） commons」等

Day3

2/18(日) 場所：みなみあいづ森と木の情報・活動ステーションきとね
〈南会津郡南会津町田島宮本東33-1〉

「はたらく・くらす・生きる」を考える —地域のための経済循環とは—

レクチャーテーマ

奥会津で「暮らす・生きる・働く」の循環を育む

奥会津の「暮らし」をつくり、奥会津で「生きる」人々の物語から、未来の「働く」を考える。地域経済のあり方を見つめ直す

【ゲストスピーカー】 奥会津地域で活躍する方々

新たな学びの刺激とともに、
和やかな雰囲気ワイワイと
進行していきます！



まんだらワークショップ③

地域の営みを続けていくため・よりよくするために、 あったらいいな&できたらいいな、を考える

地域の全体像を俯瞰し、地域のポテンシャル（人・歴史・文化・自然・産業など）を捉え、未来へのアクションを見出す

あったらいいな！
できたらいいな！！



※3回の「地域まんだら」ワークショップでは、各回毎にテーマに沿ったゲストスピーカーをお呼びし、話題提供をしていただきます。

申し込み方法

主催・お問合せ



QRコードより
お申込みください



只見川電源流域振興協議会

福島県大沼郡金山町中川字居平933番地
(奥会津振興センター内)

TEL:0241-42-7125

■備考

個人情報の取り扱い：ご記入された個人情報等は本事業の実施のみに使用し、回答者本人の同意なくしては第三者に提供することはありません
本研修会は只見川電源流域振興協議会 奥会津地域人財育成・確保支援業務の一環で、一般社団法人地域・人材共創機構（受託者）が運営するものです。電源立地地域対策交付金により実施されています